

## 平成16年度「教育研究支援プロジェクト経費」成果報告書

プロジェクトチームの代表者 部・講座等名生活・健康系(家庭)教育

氏 名 鳥井 葉子

プロジェクトの名称	中・高等学校家庭科教員と大学との「家庭科教員支援ネットワーク」による教材開発と活用	配分 予算額	円 1,170,000
プロジェクトの概要	<p>徳島県の中・高等学校家庭科教員と連携し、新学習指導要領に対応した新しい教材開発を行った。さらに、研修会を開催して開発した教材を紹介、実習を行うことにより、家庭科の授業実践の支援を行った。</p> <p>また、「家庭科教育支援ネットワーク」を通して、家庭科教育に関する情報提供を行い、教育現場がかかえる家庭科の授業実践上の課題と大学の先端的・専門的な知との融合をはかり、家庭科教育実践の充実をはかった。</p> <p>プロジェクトの実施内容と経過は次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)新学習指導要領に対応した新しい家庭科の教材開発(5月～12月) <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲーム教材を用いた消費者教育</li> <li>1時間でできる調理実習教材</li> <li>赤色系天然植物染料による染色</li> <li>現代住宅の折り紙模型製作</li> <li>ともに生きる生活福祉環境づくり</li> </ul> </li> <li>2)メーリングリストによる家庭科教育情報提供(通年)</li> <li>3)家庭科教員支援ネットワーク研修会の開催(12月27日)</li> </ol>		
成果の概要	<p>中・高等学校(小学校・大学)家庭科教員対象に、家庭科支援ネットワークによる新学習指導要領に対応した教材開発と研修会の実施に加え、家庭科教育に関する情報提供を通して教育現場の家庭科教員が求める授業実践支援を行うことができた。参加した家庭科教員が本プロジェクトの継続を強く要望していたことは、現場の家庭科教員への支援に関する成果の表れといえる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)開発した家庭科教材は、ゲーム教材を用いた消費者教育、1時間でできる調理実習教材(電子レンジを用いたカスタードプディングの調理)、赤色系天然植物染料による染色(赤しそ・さざんかの花びらを用いた染色)、現代住宅の折り紙模型製作(土佐派の住宅 Y家・高知県の現代住宅/甲斐の家2002 山梨県の現代住宅)、ともに生きる生活福祉環境づくり(子どもの自立を助けるコミュニケーションスキル教材)である。</li> <li>2)メーリングリスト登録者64名に家庭科教育情報の提供を行った(通年)。</li> <li>3)家庭科教員を対象とした「家庭科教員支援ネットワーク」研修会(12月27日)では、参加した23名の家庭科教員に開発した教材の紹介と実習を行った。さらに、それらの教材の授業における活用に関する討議を行うとともに、小・中・高校・大学教員の懇談の場を設けることにより、家庭科教育内容の連携と課題の交流を深めることができた。</li> </ol>		